

総合政策科学研究科

総合政策科学専攻
2025年度以降生

人材養成に関する目的、教育研究上の目的

◆人材養成に関する目的

◇博士課程（後期課程）

総合政策科学研究科総合政策科学専攻博士課程（後期）は、高度な問題解決能力を総合的に備えた専門職業人を育成すべく、総合性、学際性及び現地性にすぐれた教育体系をとおして、多角的な視野で問題を正しく把握し、解決に向けての政策を的確に立案・実施できる能力に加え、職業的研究者としても十分に社会に貢献できる資質を涵養することにより、政府、企業、非営利等の社会の基幹領域や、主として人文・社会科学系の学問研究分野の第一線で活躍できる人材を養成することを目的とする。

さらに各コースでは、以下のようなコースごとの特徴に基づく人材養成に関する目的、教育研究上の目的を定めている。

【2025年度以降生】

博士（政策科学）

◆ディプロマ・ポリシー

（知識・技能）

多様化・複雑化する現代社会において、公共部門・民間企業が国内外で直面する課題を、学際的・総合的観点に立った高度な学術的知見に基づいて理解できるようになる。

（思考力・判断力・表現力）

多様化・複雑化する現代社会において、公共部門・民間企業が国内外で直面する課題を、学際的・総合的観点に立った高度な学術的知見に基づいて政策の立案・実施・評価を的確に行うことができるようになる。

（主体性・多様性・協働性）

多様化・複雑化・国際化する現代社会が直面する公共的課題などを主体的に発見し、その適切な解決策を特定の学問分野の枠を超えて理論・実証の両面から多角的に探求できるようになる。

◆カリキュラム・ポリシー

- ・多様化・複雑化・国際化する現代社会が直面する公共的課題などに対して、高度な理論的知見と卓越した実践的能力に基づいて、その問題解決を主導することのできる研究者や高度専門職業人を養成するために、コースワークである選択必修科目や演習科目、リサーチワークである研究指導科目や論文によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・選択必修科目は、多様化・複雑化・国際化する現代社会が直面する公共的課題を理解するとともに、政策科学領域の学術的研究の基礎となる研究分析手法の習得を目標とし、1科目2単位以上を履修する。
- ・演習科目は、担当教員間の密接な連携による指導の下で、高度に学術的かつ専門的な評価に値する研究としての博士資格論文、博士学位論文を完成することを目標に、10単位以上を履修する。
- ・研究指導科目は、指導教員の研究指導により、公共部門、民間企業、国際社会が直面する課題を解決するための能力の総合的・体系的習得と独創的な学術研究の完成を目標とし、高度に専門的な研究を遂行する。
- ・論文は、科目の履修を通して獲得した、現代社会が直面する様々な課題の体系的・実践的解決に関する研究活動の集大成として、独創性、学際性及び総合性において、高度に学術的かつ専門的な評価に値する卓越した研究として厳格に審査される。

博士（ソーシャル・イノベーション）

◆ディプロマ・ポリシー

（知識・技能）

社会に生起する具体的公共問題を、学際的・総合的観点に立った高度な学術的知見に基づいて、なお且つ歴史的・哲学的・経営的視点からも理解できるようになる。

（思考力・判断力・表現力）

社会に生起する具体的公共問題を解決するために、学際的・総合的観点に立った高度な学術的知見に基づいたソーシャル・イノベーション・モデルを開発し、社会的事業を継続的に企画・立案・実践することができるようになる。

（主体性・多様性・協働性）

社会に生起する具体的公共問題を解決するために、ソーシャル・イノベーターとして、また理論と実践ともに優れたソーシャル・イノベーション研究者として、学術的、社会的な評価を得られるようになる。また知的財産としての価値を有するようなソーシャル・イノベーション・モデルを発展させる意欲を昂進させるようになる。

◆カリキュラム・ポリシー

- ・社会に生起する具体的公共問題に対して、高度な理論的知見と卓越した実践的能力に基づいて、その問題解決を主導することのできる研究者や高度専門職業人を養成するために、コースワークである選択必修科目や演習科目、リサーチワークである研究指導科目や論文によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・選択必修科目は、社会に生起する具体的公共問題を理解するとともに、ソーシャル・イノベーションに関する学術的研究の基礎となる研究分析手法の習得を目標とし、1科目2単位以上を履修する。
- ・演習科目は、担当教員間の密接な連携による指導の下で、高度に学術的かつ専門的な評価に値する研究としての博士資格論文、博士学位論文を完成することを目標に、10単位以上を履修する。
- ・研究指導科目は、指導教員の研究指導により、社会に生起する具体的公共問題の課題解決能力の総合的・体系的習得と独創的な学術研究の完成を目標とし、高度に専門的な研究を遂行する。
- ・論文は、科目の履修を通して獲得した、社会に生起する具体的公共問題の体系的・実践的解決に関する研究活動の集大成を、社会的課題の実践的解決を目指す社会実験を通じて自らの仮説の妥当性を証明する独創性、学際性及び総合性において、高度に学術的、専門的、社会革新的な評価に値する卓越した実践的研究として厳格に審査される。

2024年度からの授業の受講方法について

2024年度からの新学年暦では、通常の教室での授業は13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することが同志社大学及び同志社大学大学院における標準的な授業となりますが、総合政策科学研究科においては、教室での授業とオンデマンドでの受講（原則1週目のみ）が基本となります。

授業1週目（DO Week）のオンデマンド配信はシラバスから URL を確認、受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学 HP に掲載しています。以下 URL もしくは QR コードから詳細を確認してください。

■ DO Week から始まる新たな学び（標準的な授業）

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



総合政策科学研究科

総合政策科学専攻（2025年度以降生）

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
リサーチワーク								
〔研究指導科目〕								
40780001	001	政策科学特殊研究		足立 光生	春学期			指導教員の研究指導科目を選択すること
	002	政策科学特殊研究		藤本 哲史				
	003	政策科学特殊研究		畑本 裕介				
	004	政策科学特殊研究		井口 貢				
	005	政策科学特殊研究		入江 容子				
	006	政策科学特殊研究		柿本 昭人				
	007	政策科学特殊研究		川口 章				
	008	政策科学特殊研究		川井 圭司				
	009	政策科学特殊研究		川上 敏和				
	010	政策科学特殊研究		川浦 昭彦				
	011	政策科学特殊研究		風間 規男				
	012	政策科学特殊研究		久保 真人				
	013	政策科学特殊研究		真山 達志				
	014	政策科学特殊研究		武藏 勝宏				
	015	政策科学特殊研究		新見 陽子				
	016	政策科学特殊研究		野田 遊				
	017	政策科学特殊研究		野間 敏克				
	018	政策科学特殊研究		岡本由美子				
	019	政策科学特殊研究		大島佳代子				
	020	政策科学特殊研究		多田 実				
	021	政策科学特殊研究		田中 秀樹				
	022	政策科学特殊研究		田中 宏樹				
	023	政策科学特殊研究		月村 太郎				
	024	政策科学特殊研究		吉田 徹				
	101	政策科学特殊研究		足立 光生	秋学期			
	102	政策科学特殊研究		藤本 哲史				
	103	政策科学特殊研究		畑本 裕介				
	104	政策科学特殊研究		井口 貢				
	105	政策科学特殊研究		入江 容子				
	106	政策科学特殊研究		柿本 昭人				
	107	政策科学特殊研究		川口 章				
	108	政策科学特殊研究		川井 圭司				
	109	政策科学特殊研究		川上 敏和				
	110	政策科学特殊研究		川浦 昭彦				
	111	政策科学特殊研究		風間 規男				
	112	政策科学特殊研究		久保 真人				
113	政策科学特殊研究		真山 達志					
114	政策科学特殊研究		武藏 勝宏					
115	政策科学特殊研究		新見 陽子					
116	政策科学特殊研究		野田 遊					
117	政策科学特殊研究		野間 敏克					
118	政策科学特殊研究		岡本由美子					
119	政策科学特殊研究		大島佳代子					

博士課程
(後期課程)
総合政策科学研究科

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
40780001	120	政策科学特殊研究		多田 実	秋学期			指導教員の研究指導科目を選択すること
	121	政策科学特殊研究		田中 秀樹				
	122	政策科学特殊研究		田中 宏樹				
	123	政策科学特殊研究		月村 太郎				
	124	政策科学特殊研究		吉田 徹				
コースワーク								
〔演習科目〕								
40780020	001	特講演習 I	2	(本年度休講)	春学期	集中	不可	配当年次： 2年次～ 指導教員“以外”の演習科目を選択すること
	002	特講演習 I						
	003	特講演習 I						
	004	特講演習 I						
	005	特講演習 I						
	006	特講演習 I						
	007	特講演習 I						
	008	特講演習 I						
	009	特講演習 I						
	010	特講演習 I						
	011	特講演習 I						
	012	特講演習 I						
	013	特講演習 I						
	014	特講演習 I						
	015	特講演習 I						
	016	特講演習 I						
	017	特講演習 I						
	018	特講演習 I						
	019	特講演習 I						
	020	特講演習 I						
	021	特講演習 I						
	022	特講演習 I						
	023	特講演習 I						
	024	特講演習 I						
40780021	001	特講演習 II		足立 光生	秋学期			指導教員“以外”の演習科目を選択すること
	002	特講演習 II		藤本 哲史				
	003	特講演習 II		畑本 裕介				
	004	特講演習 II		井口 貢				
	005	特講演習 II		入江 容子				
	006	特講演習 II		柿本 昭人				
	007	特講演習 II		川口 章				
	008	特講演習 II		川井 圭司				
	009	特講演習 II		川上 敏和				
	010	特講演習 II		川浦 昭彦				
	011	特講演習 II		風間 規男				
	012	特講演習 II		久保 真人				
	013	特講演習 II		真山 達志				
	014	特講演習 II		武藏 勝宏				
	015	特講演習 II		新見 陽子				
	016	特講演習 II		野田 遊				
	017	特講演習 II		野間 敏克				
	018	特講演習 II		岡本由美子				

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考		
科目	クラス									
40780021	019	特講演習Ⅱ	2	大島佳代子	秋学期	集中	不可	指導教員“以外”の演習科目を選択すること		
	020	特講演習Ⅱ		多田 実						
	021	特講演習Ⅱ		田中 秀樹						
	022	特講演習Ⅱ		田中 宏樹						
	023	特講演習Ⅱ		月村 太郎						
	024	特講演習Ⅱ		吉田 徹						
40780010	000	共同演習			2年次秋	集中	不可			
[選択必修科目 (2単位以上履修すること)]										
40780030	001	リサーチ・デザイン特講 (政策科学)	2	川浦 昭彦 入江 容子 田中 秀樹 野田 遊 安達 晃史 伊川 萌黄 中原 慧 辻 優太郎 柿本 昭人 川口 章 久保 真人 大島佳代子 月村 太郎	春	集中	不可	オンデマンド 授業		
40780031	001	リサーチ・デザイン特講 (ソーシャル・イノベーション)		川浦 昭彦 入江 容子 田中 秀樹 野田 遊 安達 晃史 伊川 萌黄 中原 慧 辻 優太郎 武藏 勝宏				オンデマンド 授業 + 集中講 義期間中対面 授業 ※講義日程の 詳細はシラバ ス、時間割表 を確認すること。		
40780040	001	比較政策科学文献研究 (政策科学)		柿本 昭人				秋	2	
	002	比較政策科学文献研究 (政策科学)		川井 圭司				春	2	
40780041	001	比較政策科学文献研究 (ソーシャル・イノベーション)		中嶋 愛				春	2	

履修方法

1. 研究指導を希望する教員に相談の上、修了必要単位数表（下記、3の表）に従って計画的に履修すること。
2. 年間の登録単位数は24単位を限度とする。また、春学期および秋学期の登録単位数はそれぞれ12単位を限度とする。

3. 修了必要単位数表

	科目群	科目名 ※すべて合否科目	配当年次	学期	修了必要単位数の内訳	合計
リサーチワーク	研究指導科目	政策科学特殊研究	毎年次	春/秋	単位無し	12単位以上
コースワーク	演習科目	特講演習Ⅰ	2年次～	春	8単位以上	
		特講演習Ⅱ	1年次～	秋		
		共同演習	2年次	秋	2単位	
	選択必修科目	リサーチ・デザイン特講（政策科学） 比較政策科学文献研究（政策科学） リサーチ・デザイン特講（ソーシャル・イノベーション） 比較政策科学文献研究（ソーシャル・イノベーション）	1年次～	春/秋	2単位	

※早期修了の場合は修了必要単位数が変わります。詳細は「履修の手引き」を参照のこと

4. リサーチワーク

- ・研究指導科目：**指導教員の担当する「政策科学特殊研究」を毎学期必ず登録すること。**

5. コースワーク

- ・演習科目：**指導教員以外**が担当する「特講演習Ⅰ」「特講演習Ⅱ」を8単位以上、指導教員が科目代表者を務める「共同演習」（2年次秋学期）を2単位履修すること。
※「特講演習Ⅰ」「特講演習Ⅱ」は同一学期に複数クラス履修することが可能。ただし、同一学期に「共同演習」を履修することができない。
- ・選択必修科目：2単位以上履修すること。登録にあたっては、「履修の手引き」を参照のこと。

6. 選択必修科目の登録について

- ・登録にあたり「履修希望書」の提出が必要となる（学修支援システム DUET では登録できない）。詳細は総合政策科学研究科の「履修の手引き」を参照のこと。

7. 希望学位の決定及び修了時の学位について

- ・選択必修科目の登録をもって、ご自身の希望学位（政策科学もしくは、ソーシャル・イノベーション）が決まる。
例）希望学位を「政策科学」とする場合は「リサーチ・デザイン特講（政策科学）」もしくは「比較政策科学文献研究（政策科学）」の登録が必要。
希望学位を「ソーシャル・イノベーション」とする場合は「リサーチ・デザイン特講（ソーシャル・イノベーション）」もしくは「比較政策科学文献研究（ソーシャル・イノベーション）」の登録が必要。
この希望学位が、修了時に授与される学位となるため、指導教員とよく相談すること。